

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2011.4.28

No. 9

求人の見通しが立たないとの発言多い 企業回り始めました

今年の就職希望者の増加と、震災による求人減少が予想される中で、少しでも求人をいただけるよう地元の企業をお願いするために4月18日から企業回りを始めました。どこの企業を訪ねても開口一番「今年の求人は見通しが立たない」「ある程度見通しが付けば求人したいが、今の時点では昨年より厳しいかもしれない」と言われます。

地震の影響がどこまで続くか企業の方にとっても先が読めず疑心暗鬼となっているようですが、その厳しさは当分続きそうです。

またある自動車部品の製造をしている企業を訪ねたところ、極めて静かで戸も閉まっているため一瞬驚きましたが、担当者にお会いし話をお聞きすると、東北地方の部品供給がストップしたため、仕事を休まざるをえずしばらく長い連休中とのこと。但し、9月頃になれば元の態勢に戻れるのではと期待しており、来年度の求人はしたいとのこと。但し当面どうこの時期を乗り切ることが頭が痛いとお話でした。ある企業は震災地の企業の肩代わりで仕事が一気に増え極めて忙しくなっていると話される場所もありました。どの企業も今後の見通しが立たないのが心配とのこと。

一昨年の卒業生で、中途離職した者が職を求めハローワークに行くが求人が無くて困っていると最近幾人かが学校を訪ねてきました。地震以降ぴったりと求人が止まってしまっているようです。

今年4月に入社した生徒や昨年入った生徒達が、「よく頑張っており、良い生徒を紹介してもらい有り難い。今年度も先の見通しさえ立てば是非箕輪高へ求人したい」といわれる企業もあり、そんなときは大変嬉しく感じますが、中には首をかしげられるところもあります。

「先の見通しが立てば求人したい」という企業は多くとも、上伊那地区では昨年に比べ70人近く就職希望者が増加しそうです。はたして地震の影響がいつ頃に見通しが立つかは楽観は許されないような気がします。皆さんが思っている以上に地震の影響を払拭するには時間がかかるように思われます。今年の卒業予定者にとっては安易な期待をするより相当厳しいことを覚悟していた方が無難に思います。

基礎学力を付けること！



企業を回ると多くの企業の方が、「企業は必ずしも学校の成績は関係ない。むしろ明るくて真面目でやるべきことをきちんとやれる人が欲しい」と言われます。しかしそうした企業に入るためには最低限の基礎学力がないと入社試験で他校の生徒との競争に勝てません。先に行われたSPI2の模擬テストで少なくとも50点以上とれなければダメです。企業の求める基礎学力はそれほど高度なものを要求しているわけではありません。しかしそれが出来ないために昨年は多くの生徒が不合格となってしまったのです。

また進学した生徒が専門学校の勉強について行かれず中途退学したり大学の予備校に入ったが、ついて行かれず辞めたという例も昨年ありました。進学・就職に関わらず基礎学力を付けるよう心がけて欲しいものです。